

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 令和 5年 3月 24日

事業所名：児童デイサービス ひなたぼっこ(桃山台教室)

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価 （21名の回答がありました）			保護者の評価
			はい	どちらとも いえない	いいえ	
環境・ 体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	指定基準で定められたスペースの確保をしておりますが、運動をするときなどは公園を利用するなどして工夫をしております。	19	2	
	2	職員の適切な配置	常時、法令で必要とされる以上の人員を配置し、教諭免許取得者、児童指導員（障害、児童の経験者）などの専門職員を配置しています。	18	3	
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	開所時にリフォームをし、車いす利用者様の目線で、玄関、床、トイレ等バリアフリー仕様をしています。またホワイトボードや写真等を使い、視覚的に理解しやすいよう配慮しています。	21		
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	コロナ禍の中、特に日々の清掃、消毒をし、清潔な環境を確保しております。空調等にも気をつけ、危険を意識して整理整頓に心掛けております。	21		・換気や消毒などよくできています。
業務	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	外部研修で得た知識を社内研修で職員にアウトプットし職員の意識向上につなげるとともに、書物などの情報源を活用し、ミーティングなどで意見交換をしています。			

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価 （21名の回答がありました）			保護者の評価
改善	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による評価は実施しておりませんが、今後検討してまいります。				
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オンラインや講師を招いての研修、区内の部会への参加などで資質向上を目指しております。				
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	ご利用に際して、契約時にフェイスシートや聞き取りを行い、アセスメント、個別支援計画を作成しています。半年ごとにモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしています。	21			・共有できています。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	フェイスシートに沿った支援の中で、個別支援計画を作成しております。発達段階や保護者様の希望に合わせて、個別活動や集団活動を組み合わせた支援計画を立てています。個別で行う学習や制作、集団で行う運動やレクリエーションなどを実施しています。				
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	長期目標と短期目標を設定して、優先順位をつけて個別支援計画を作成しています。	20	1		・具体的な内容を伝えて頂いています。
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員が利用者様の支援計画やフェイスシートを十分に理解し、サービス計画に基づいた支援を行うようにしています。また変更等があれば、その都度ミーティング等で情報の共有化を図っております。	19	2		・して頂いています。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価 （21名の回答がありました）		保護者の評価
適切な支援の提供 （続き）	5 チーム全体での活動プログラムの立案	日々のプログラムやイベント等チームで話し合い、利用者様にとって実りある活動になるよう計画を立てています。			
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	個々利用者様に対し、平日に支援する内容、学校休業日の長い時間に支援する内容を、全職員で話し合い共有し支援を行っております。			
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個々の特性に応じた全員で参加できる毎月の季節に応じたイベント、また共同制作、「今日は何の日」では、毎日何かの日であることから、それにちなんだ内容のサービス等工夫をしております。	19	2	・様々な活動や季節に応じたイベント等ありがとうございます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日、ミーティングにおいてその日の職員の役割分担や支援に漏れないよう情報確認の徹底に気を付けております。			
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は送迎に出る職員もあり全職員での振り返りは難しく、残った職員で行っておりますが、翌日のミーティングにおいて全職員が共有できるように努めております。			
10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	毎日、保護者様との連絡帳の記入で支援の報告をしています。また、業務日報にて、支援の記録、経過を記録し、情報を共有しています。				

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価 （21名の回答がありました）			保護者の評価
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	毎月のミーティングにて個別支援会議を行い、利用者様の情報を把握しています。また、モニタリングを行い見直しを行っています。				
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	幼稚園、学校関係は送迎時に連携をとっております。また、支援事業所のサービス担当者会議にも児童発達管理責任者が出席するようにしています。				
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	ご家族様や学校、相談支援事業所と連携を取り、状態の把握に努めております。				
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	ご家族様を通して情報を共有しています。				
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	ご家族様のご希望により、認定こども園、幼稚園、支援学級（小学校、中学校）の担任の先生方と連絡ノート等を利用して支援内容の情報共有をしています。				
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	特別支援学校を卒業され、障害福祉サービス事業所に移行される利用者様には、これまでの支援内容の情報を提供いたします。				

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価 （21名の回答がありました）			保護者の評価
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修会等に参加し、支援活動の向上に努めています。				
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	昨年からのコロナ禍、外部との活動を控えさせていただきました。				
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	昨年からのコロナ禍、外部との活動を控えさせていただきました。				
保	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容や利用者負担については、契約時に説明を行い、了承の上、サイン、押印を頂いています。	21			・説明をして頂いています。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	作成時に確認いただき、訂正、加筆等の確認をし、了承を得てから、押印を頂いています。	19	2		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者様に対して、お子様の様子や支援の内容はお伝えしていますが、通信に様々なパターンの支援方法（ペアレントトレーニング）を掲載することでたくさんの保護者の皆様から好評を頂きました。今後も続けて参ります。	20	1		・ペアレントトレーニングを学ぶ機会が出来ました。子どもが伝えたい意欲や気持ちが出てくるのが分かりました。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価 （21名の回答がありました）			保護者の評価
護 者 へ の 説 明 責 ・ 連 携 支 援	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時にお子様の様子をお伝えしており、情報の共有に努めています。電話等にてご質問、ご相談があれば、いつでもお伝えくださいとお話しています。	20	1	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談等は随時行っており、相談があれば支援者として必要な助言を実施しております。	21		
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度もコロナ禍の中でしたので、保護者会を控えさせて頂き、個人懇談のみとさせて頂きました。			
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	相談、苦情に関してましては、迅速な対応を心がけております。	18	3	・苦情を言ったことがないので分からない。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お子様の状態に応じて、文字板や絵カードを使用して意思伝達、情報伝達が出来るように努めております。連絡帳などで情報の共有をしています。	21		・タイマーや視覚的な情報（絵カード）等を使って工夫して頂いています。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	通信を発行し活動内容などをお伝えしています。いつでも連絡が取っていただける様、連絡先をお伝えしております。	21		

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価 （21名の回答がありました）			保護者の評価
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員には、秘密保持の契約書をとっています。個人情報に記載された書類は、鍵付き書庫に保管しています。また、PCにはパスワード設定、ホームページへの顔出しなどは事前に了承を頂いています。	20			・タイマーや視覚的な情報（絵カード）等を使って工夫して頂いています。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルは作成しており、職員に周知徹底しています。利用者様の緊急時には、ご家族様に連絡を取らせて頂くことを、契約時お知らせしています。また、災害時等の緊急時連絡シートも作成しています。	19	2		・緊急対応、防犯マニュアルに対して説明された記憶がないのでわからない。 ・避難訓練が実施されたことを連絡帳や通信で伺っています。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	お子様にはレクリエーション時に防災の知識や避難訓練のお話はしています。年2回必要な訓練を実施しております。保護者様には通信や連絡帳を通じて訓練の状況や避難経路を発信しております。	20	1		
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待研修の参加やチェックシートの実施。事業所内でも研修の機会を設け、虐待への理解を深め、防止に向けての適切な対応が取れるようにしています。				
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束に関しては、現在対象の児童はおりません。				

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価 （21名の回答がありました）			保護者の評価
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーの有無を確認し、フェイスシートに記入をし、職員間で情報共有しています。				
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例が生じた場合は、報告書を記入し、事例検討会議をし、再発防止に努めています。				
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか		21			<ul style="list-style-type: none"> ・お迎えに来られるのを楽しみに待っています。 ・いつも楽しみにしています。
	2 事業所の支援に満足しているか		20	1		<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧に支援の様子を伺っています。 ・体調の変化によく気がついて下さり満足しています。